

▼コンバントリン錠・▼ドライシロップ [内]

【重要度】 【一般製剤名】ピランテルパモ酸塩 pyrantel pamoate 【分類】広域駆虫剤

【単位】▼100mg/錠, ▼10%DS

【常用量】10mg/kg/日

【用法】分1

【透析患者への投与方法】消化管から吸収されにくいいため減量の必要はないと思われる (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】消化管から吸収されにくいいため減量の必要はないと思われる (5)

【特徴】線虫に対する広域駆虫薬。副作用はまれに一過性の悪心、腹痛が認められるが軽度である。回虫に対しては10mg/kg, 蟯虫・鉤虫に対しては10~20mg/kgの頓用で90~98%の駆虫効果が認められる。虫体の神経・筋接合部の機能障害による運動麻痺によって駆除効果をあらわす。

【主な副作用・毒性】腹痛, 悪心, 頭痛, 倦怠感, 眩暈, 下痢, 頭重感, 胃部膨満感, 食欲不振, 嘔吐, 便秘など

【吸収】ほとんど吸収されないが、吸収されると血中にはほとんどが代謝物として検出される (1) 吸収率は非常に低い (11)

【代謝】thiophene acrylic acid または N-methyl-1, 3-propanediamine に代謝され、thiophene acrylic acid はさらに 4keto-2-heptenedioic acid および thiophene carboxylic acid に代謝され、さらに 4keto-2-heptenedioic acid は levulinic acid に代謝される (11)

【排泄】糞中排泄が主。尿中には1~3%が排泄 (1)

【MW】594.68

【透析性】資料なし (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【更新日】20200328

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。